

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハーティワン桃園			
○保護者評価実施期間	2025年2月13日 ～ 2025年3月5日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年2月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	近くに思い切り運動が可能な大きな公園がある。（猪名川運動公園）	自転車に乗りたい、ボール遊びをしたい児童など各々が自分のしたい事があるのでこども達で話し合いの時間を設けて、今日は〇〇にしよう。〇〇を何分した後に〇〇にしよう等時間を設定する事もある。こどもたちで考える事を大切にしている。	今後もこどもたちの；〇〇したい；気持ちを尊重し、ルールや約束事を確認しながら、こどもたちが主体的にのびのび、いきいきと活動できるように支援していく。
2	室内でも広いスペースが確保できている。	雨天時等、室内で色々な運動プログラム等を実施している。こどもたちが気軽に参加できるような雰囲気づくりに務めている。	室内活動時には年齢、個人の発達段階を配慮したプログラムを提供しているが、個別に評価しながら全体のプログラムを組み立て、検討していく。
3	様々な学年の児童が在籍しており、関係性を持つことができる。（異年齢集団活動）	発達段階が異なる児童が集まるため、それぞれが楽しめる活動を工夫している。	年齢が異なるため、年齢に応じた安全性の確保。職員に対しての研修を今後も継続、実施していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会、保護者同士で交流する機会を設ける取り組みが出来ていない。	保護者同士が顔を合わせる機会が少ないこと。	今後、保護者の意見、意向を確認して検討していく。安全に保護者間交流ができる体制づくりを考えていきたい。
2	緊急時（災害発生時）に備え、定期的な避難訓練をしているが、実際の事態が起こった際にスムーズに行動、対応が出来るよう、今後も訓練を行っていく必要があると考える。	災害時（水害時）の場合、当施設の場所が氾濫時の危険区域内である。	災害に備え、継続して避難準備をしておく。（災害備蓄品の定期的なチェック等）また定期的な避難訓練等の実施を今後も行っていく。
3	定期的に同じプログラムになること（雨天時の外出時等）で予測可能となり、活動が単調に感じられる場合がある。	雨天時の外出活動は行動範囲が限られている。新しい外出活動を提案しているが、既存の内容に頼りがちになっている。	今後も職員間でアイデア交換を促進するしていく。